

欧州編:

キーワードはモビリティ: PC 市場成長のカギを握るノート型 PC

欧州、中東、アフリカ(EMEA)地域における PC 市場は、2007 年、ノートブック型 PC の出荷台数の伸びに牽引され、さらなる成長が見込まれている。また、消費者、企業ともにノート PC への関心が高まっており、市場拡大の牽引役がデスクトップ型からノート型へと交代時期を迎えているともいえる。調査会社 IDC の 2008 年 3 月 7 日付発表によると、2007 年の EMEA 地域 PC 市場は堅調な伸びを示し、出荷台数は前年比 15.9% 増の 8,800 万台となった(メーカー別シェア情報なし)。中でも、ノート PC 売上げ成長は、同地域全体で前年比 36.4% 増。デスクトップ型 PC の販売台数約 1,650 万台に対し、ノート PC の販売台数が約 2,100 万台となり、初めてデスクトップ型の販売台数を超えた。Dell の小売店販売開始や Lenovo、Acer など低価格がセールスポイントの PC メーカー参入により、値下げ競争が加熱、同地域における消費者のノート PC の買い替え意欲を刺激した。また、2007-08 年は、モビリティを重視し始めた企業の PC 交換時期のピークにあたること、さらに、ホーム・エンターテインメント機器の充実により家庭内で持ち運び可能な PC を消費者が求めていることなどから、デスクトップ PC よりもノート PC への関心が高まっており、2008 年はさらにノート PC の需要が伸びると予想されている。国別では、英国が PC 価格競争の激戦真只中にあり、2007 年、同国の PC 全体の出荷台数が前年比 12.6% 増であるのに対し、ノート PC は前年比 36% 増(3 月 5 日付 IDC)となっている。フランスでも、PC 全体の出荷台数が前年比 10.5% 増で、ノート PC の成長が約 30% 増となる一方で、デスクトップ PC は、前年比 3.7% 減と鈍化していると、3 月 6 日付けで IDC は発表している。